

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四年三月度 入賞句一覧

投句数 千六百七十七句

奥の細道  
むすびの地



特選

高木 恵理 選

背のびして青空を見るつくしんぼ

大垣市

青木 紅槻(小六)

今から三億年以上前、生物はすべて水の中に住んでいました。最初に陸に上がったのは、植物だと言われています。つくしの祖先も水の中に住んでいたのでしよう。初めて陸に上がり、青空を仰いだつくしは、きつと美しさに驚いたことではしよう。そして今、令和の空を仰いだつくしも、その美しさに感動したことではしよう。生命の喜びを感じさせる句です。

三月に最後のチャイム鳴り響く

加茂郡川辺町

酒向 律希(高一)

「最後のチャイム」というのは、卒業式前日のチャイムのことでしょう。切磋琢磨してきた仲間との愛護の授業。共に笑い、涙を流した大切な仲間との別れ。最後のチャイムが鳴った時に、作者は新たな道へと進む覚悟を決めたのではないでしようか。「響く」という言葉からは、いつまでもこの仲間を忘れないという作者の思いも感じさせられるのです。

うめさいたままだまだ白いいぶき山

大垣市

竹腰 侑生(小三)

今年、冬が厳しく春が待ち遠しかったですね。長い冬を乗り越えて、やっと梅の花が咲き始めると、私もほっとしたような気がします。でも、西を見るとまだまだ雪の残る伊吹山。可憐な白い梅の花と雄大な伊吹山との対比が素晴らしいです。さらに、伊吹山という名前からは、春の芽吹きも感じさせる俳句です。

秀逸

しゃぼん玉小さい君が映ってる

加茂郡川辺町

川崎 愛心(高一)

サクラサク鏡の前で深呼吸

加茂郡川辺町

徳富 陽彩(高一)

ゆきうさぎきれいなはつぱみつかからず

大垣市

高木 詩(小四)

チューリップまいにちみずをあげている

大垣市

せつた れお(小四)

雪だるま今朝の天気はくもりだよ

大垣市

宮本 叶多(小五)

花びらはようせいからのお手紙だ

大垣市

松本 ちかげ(小六)

なわとびで後ろかけ足チャンピオン

大垣市

竹腰 侑生(小三)

お父さんえがおいっぱいバレンタイン

大垣市

棚橋 鈴(小三)

うめの花ひとりぼっちでさみしそう

大垣市

清水 友彩(小三)

つくしんぼみんななかよくならんでる

大垣市

山本 悠翔(小三)

# 入選

朝六時明るくなつて春感じ  
進級し気持ちも全部切りかえる  
はるになりこのクラスともおわかれだ  
卒業日六年ずっとありがとう  
ゆきだるまつくつたらすぐおわかれだ  
春になり明るい時間増えてきた  
早朝の明るさちがう立春だ  
おかあさんきのこごはんをありがとう  
チューリップなに色さくか楽しみだ  
ころがして大きくするぞゆきだるま  
きれいだなぼんぼりてらすおひなさま  
さくらもち春がきたなと食べました  
ひなあられ白色ばかりのこつたよ  
おひなさまにつこり笑う私もね  
囀はみんなを起こすめざましだ  
お花見でわくわくしてるお弁当  
春の川きらきら光る魚たち  
あたたかな風にふかれて綿毛飛ぶ  
こたつのね中にもぐつてねこのまね  
ひなあられみんなにわかるしあわせだ

加茂郡川辺町

佐伯 颯太(中三)

加茂郡川辺町

額額 瑛音(中三)

大垣市

大橋 侑真(小四)

大垣市

石田 あん(小五)

大垣市

ヴァンダリ ビバン(小五)

大垣市

近澤 葉奈(中一)

大垣市

中村 明日香(中一)

大垣市

清水 友彩(小三)

大垣市

安田 真紀人(小三)

大垣市

細川 らら(小三)

大垣市

谷 朋花(小三)

大垣市

小川 旭陽(小三)

大垣市

渡部 美柚(小三)

大垣市

鈴木 桃果(小五)

大垣市

坂 実乃璃(小六)

大垣市

竹中 結良(小六)

大垣市

小宅 歩結美(小六)

大垣市

日比野 椿(小六)

大垣市

杉山 柚月(小四)

大垣市

たなべ けんしん(小四)

# 小中学生の部

# 選者吟

本丸を隠してしまふ桜かな

恵理

